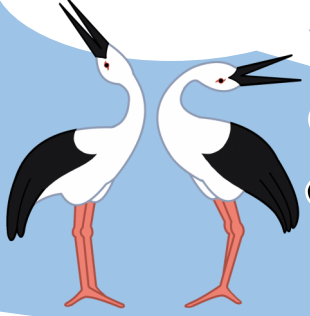


コウノトリ



毎週月曜日更新

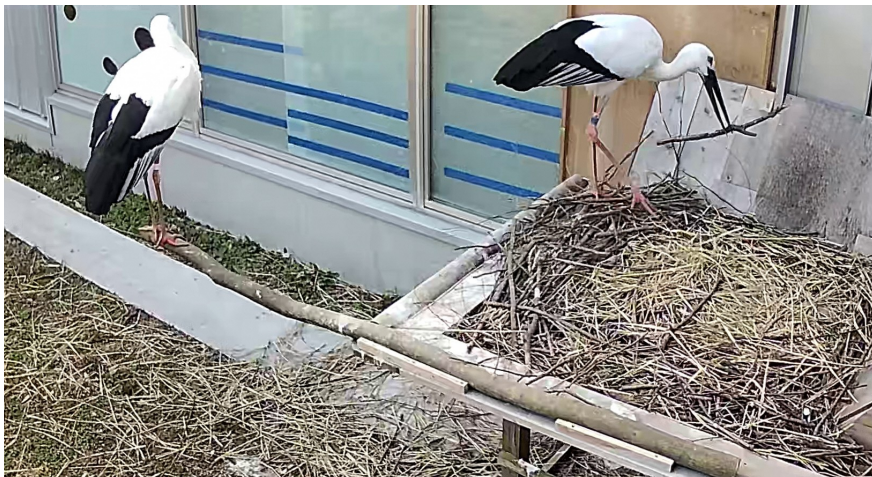
カタカタ通信

第213号

「巣作り進んでいます」

2026年1月26日

巣材を運んだり組んだりする営巣にかかる時間が、空（♂）では1日あたり400分に近づいてきました。時間にすると、6時間あまりです。夜間はほとんど行わないので、日中の活動時間の半分ほどを費やしています。一方、花（♀）は今のところ100分以下です。



せっせと運ぶ空。花もたまに運びつつ、空の様子をチェック？

昨年のデータを見ると、♂の営巣は1月20日ごろがピークで、ある程度形になると少し減っています。2月に入ると、今度は巢に座る時間が増えていきました。♀の営巣は、2月に入ってから徐々に増え、2月20日ごろにピークを迎えると、月末に巢に座り始めました。その後、3月に入って産卵しています。昨年と近いペースなので、今年も同じように進むといいなと思います。

最近の2羽は夜の間、巣の上で一緒に過ごしています。巣台に新しくつけた止まり木と巣の上に1羽ずつの時もあれば、2羽で巣の上にいることもあり、これまでよりさらに距離が近づいています。



花は巣台、空は止まり木



巣台で隣り合わせも

また、新たな巣材も与えてみました。いい巣材はないかと日々探していますが、動物園などで「木綿・木毛（もくめん）」という素材を使っているのを見て、これなら使えるかも？と試してみることに。

その結果発表は、また次回。



天然素材（国産松）マツの木！

いよいよ繁殖期に突入です。よりよい環境づくりに向けて最善を尽くしているところです。今年は、「モアベターよ。」

天空の里 鴻巣市コウノトリ野生復帰センター
飼育担当：しみじい